

「今後の住宅政策のあり方検討小委員会」における審議結果について

委員長： 安田 丑作 神戸大学名誉教授

委員： 檜谷 美恵子 京都府立大学大学院生命環境科学研究科 教授

清水 陽子 関西学院大学総合政策学部 教授

松原 一郎 関西大学 名誉教授

成田 康子 (公社)兵庫県看護協会 会長

濱田 洋 兵庫県立大学国際商経学部 准教授

令和 2 年度

(凡例 ○：議事 →：主な意見)

【第 1 回】令和 2 年 9 月 14 日 (月) 10:00~12:00 兵庫県公社館 1 階 大会議室

議事 及び 主な 意見	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小委員会の進め方 ○ 現計画の検証・評価 ○ 論点整理・施策の方向性（住宅ストック） <ul style="list-style-type: none"> → 空き家対策は外部不経済を生じさせる特定空き家等だけを対象とするのではなく、空き家になる前の段階からの対応が必要。 → 不動産業者と連携した、空き家の活用方法を所有者に提案する仕組みが必要。 → 供給する時点で住宅に備わった性能を見える化し、購入者が選択できる環境を整えていくことが必要。 → バリアフリーや断熱改修は単独では割高になるため、設備更新などの実施割合の高いリフォームと合わせて実施するよう誘導することが必要。
----------------------	---

【第 2 回】令和 2 年 12 月 25 日 (金) 14:00~16:00 兵庫県民会館 10 階 福の間

議事 及び 主な 意見	<ul style="list-style-type: none"> ○ 論点整理・施策の方向性（居住者、まちづくり、その他） <ul style="list-style-type: none"> → 子育てについては、近隣コミュニティなど親族以外の支援も考えるべき。 → 高齢者が住み慣れた自宅で健康かつ快適に暮らし続けていくためには、高齢者に備えた住宅改修を早め実施することが重要。 → 既存住宅流通や空き家活用の支援は、子育て世帯の住宅取得だけでなく、高齢者の住替え支援策としても検討すべき。 → 災害リスクを踏まえた都市のコンパクト化を念頭においた、購入者へのリスク周知や住宅の立地誘導などの対策が必要。
----------------------	--

【第3回】令和3年2月18日（木）10:00～12:00 ラッセホール5階 ハイビスカス

議事 及び 主な 意見	<ul style="list-style-type: none">○ 目標の検討、計画骨子案<ul style="list-style-type: none">→ コロナの記述はコロナ後の前向きなものだけでなく、今現在被害を受けている人達が立ち直るための施策についても記載することが必要。→ 銀行や住宅金融公庫など、資金面のプレイヤーに対するアプローチが必要。○ 特定テーマの検討<ul style="list-style-type: none">① 低額所得者に対する住宅セーフティネットのあり方<ul style="list-style-type: none">→ 公営住宅とセーフティネット専用住宅のいずれか一方での対応ではなく、それぞれの長を兼ね合わせたセーフティネットのあり方があるべき。→ 住生活基本計画の中でセーフティネット住宅をどう位置付けるのか考えることが必要。② ストック過剰時代における住宅供給のあり方<ul style="list-style-type: none">→ 悪影響が予想される住宅の新築抑制は行わず、良質なストックとなるものに新築住宅を誘導していくことが必要。→ その上で、既存住宅をどう活用していくかが問われているのではないか。
----------------------	--

令和3年度

【第4回】令和3年5月20日（木）10:00～12:00 ラッセホール5階 ハイビスカス

議事 及び 主な 意見	<ul style="list-style-type: none">○ 成果指標の検討<ul style="list-style-type: none">→ 震災を経験し、率先して福祉のまちづくりに取り組んできた兵庫県らしさの表れとして、バリアフリーや耐震性の指標の設定が必要。→ 住生活基本計画では、高齢者居住安定確保計画とは違う指標の設定が必要。→ 既に目標を達成したセーフティネット住宅の登録戸数の再検討が必要。○ 重点施策の検討<ul style="list-style-type: none">→ 子育て支援策としての三世同居は、行政がメッセージを出して推進すべきではない。→ 若中年単身世帯の居住安定確保は県営住宅への入居以外の取組も必要。→ 多自然地域における空き家活用では、移住者のニーズを踏まえて、購入だけでなく賃貸できる物件の確保が必要。
----------------------	--

【第5回】令和3年7月26日（月）14:30～15:30 神戸市教育会館 203号室

議事 及び 主な 意見	<ul style="list-style-type: none">○ 住生活基本計画（案）及び高齢者居住安定確保計画（案）<ul style="list-style-type: none">→ 全国計画を踏まえた記載内容の検討が必要。→ 既存住宅の性能の評価や表示についての検討が必要。→ 住宅・土地統計調査では地域の状況をきめ細かに把握するのは困難であり、より詳細な調査の実施が必要。
----------------------	--